

平成28(2016)年度

徳島大学大学院栄養生命科学教育部（博士前期課程）

第2次学生募集要項

（一般・私費外国人留学生）

徳 島 大 学

平成28(2016)年度 徳島大学大学院栄養生命科学教育部 (博士前期課程)
第2次学生募集要項

本栄養生命科学教育部では、医療機関や地域社会・産業分野で活躍する高度専門職業人、また教育研究機関で活躍する先端的な教育研究者の要請を目指し、基礎生命科学から多様な医療関連知識等を含む人間栄養学に関する幅広い教育を行うとともに、社会の要請に対応できる先導的研を推進し、教育研究の成果を通じた人材育成及び社会貢献により、栄養学の発展に寄与することを目的としています。

＜栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻のアドミッションポリシー＞

生命科学および医学に基づいた栄養学の高度な専門知識を持ち、人々の食生活を改善し、健康の保持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

- ・医学に立脚した高度な専門知識と技術を有する臨床管理栄養士をめざす人
- ・栄養施策を企画し、国内外において社会に貢献することをめざす人
- ・栄養学分野の研究・教育機関で活躍することをめざす人

I 募 集 人 員

| 専攻名 | 定 員 | 今回募集人員 |
|--------|-----|--------|
| 人間栄養科学 | 22人 | 若干名 |

II 出 願 資 格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び平成28(2016)年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28(2016)年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年間の課程を修了した者及び平成28(2016)年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28(2016)年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成28(2016)年3月までに修了見込みの者
- (6) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める以後に修了した者及び修了見込みの者
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本教育部において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本教育部において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28(2016)年3月31日までに22歳に達している者（注を参照）

注1) 出願資格(9)の認定について

- ① 「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、大学を中途退学した者（2年以上在学した者に限る。）並びに短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業者、その他の教育施設の修了者等で、中途退学又は卒業等した後、栄養学関係の分野において2年以上の業務経験及び活動業績がある者としてします。
- ② 該当する志願者は、事前審査が必要となりますので、「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書(本教育部所定の用紙)」、「2年以上の業務経験及び活動を証明する書類(企業等の人事課長、社長等の証明するもので様式は随意)」及び「研究内容報告書(1,000字～1,500字程度にまとめたもので様式は随意)」、なお、研究業績のリスト及び論文等があればそれも添付のうえ、平成27(2015)年10月9日(金)までに医歯薬事務部

医学部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)に提出してください。
 注2) 私費外国人留学生入試
 日本語又は英語が理解できる者とします。

III 出願期間と受付場所

- 1 出願期間 平成27(2015)年11月12日(木)から平成27(2015)年11月20日(金)まで(土曜日、日曜日、祝日を除きます。)
 受付時間は、毎日午前9時から午後5時まで。
 郵送、持参とも11月20日(金)午後5時までに必着のこと。
 - 2 受付場所 〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
 徳島大学医歯薬事務部医学部学務課大学院係 (栄養生命科学教育部担当)
 (電話(088)633-9649)
- (注) 私費外国人留学生は、応募に際しては、あらかじめ志望専攻指導教授に照会のうえ出願してください。

IV 出 願 手 続

1 提出書類等

| | |
|---------------------|--|
| 入 学 願 書 | 所定の用紙に必要事項を記入したもの(最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真をはること。) |
| 受 験 票 | 最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真をはること。 |
| 成 績 証 明 書 | 出身大学(学部)長が作成した成績証明書 |
| 卒業証明書等 | 卒業(見込み)証明書・修了(見込み)証明書 |
| 学 士 の 学 位 授 与 証 明 書 | 出願資格(2)に該当する者のみ大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付すること。 なお、短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の学位取得見込者は、学(校)長の証明する修了見込証明書及び学位授与申請予定証明書を添付すること。 |
| 検 定 料 | 日本国内に居住する者は本要項に添付の払込用紙に検定料30,000円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口で払い込んでください。郵便局の領収の押印を得て、「検定料払込証明書(出願用)」を添付の台紙にはって出願手続書類と一緒に提出してください。 日本国外に居住する者は、徳島大学ホームページ内の「留学生ポータル」 http://admission.isc.tokushima-u.ac.jp/ からインターネット出願することにより、クレジットカードで検定料を支払うことができます。 |
| 受 験 許 可 書 | 現在大学院に在学中の者及び官公庁、会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書(様式随意) |
| 外国人住民登録証明書等 | 本邦に在留する外国人は、住民登録証明書及び研究指導教員等の推薦書を添付すること。 |
| 返信用封筒 | 82円切手をはり、自己の住所氏名を明記したもの(願書を直接持参する場合は除く。) |

2 手 続

- (1) 入学志願者は、出願手続に必要な書類をそろえ、出願期間内に必着するように提出してください。
- (2) 上記出願書類を郵送する場合は「書留」とし、封筒に「大学院栄養生命科学教育部博士前期課程入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、私費外国人留学生の別も明記してください。

V 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び出身大学（学部）長から提出された成績証明書等を総合して判定します。

1 学力検査等

- (1) 日 時・学力検査科目等
(一般入試)

| 年月日（曜日） | 検 査 科 目 | 時 間 |
|-------------------------|-------------|----------------|
| 平成27(2015)年 12月3日(木) | 外国語科目（英語）※注 | 午前 9時から午前11時まで |
| | 面接（質疑応答） | 午後 1時から午後 5時まで |

※注 外国語科目（英語）の出題範囲は、栄養学・生命科学及び自然科学関連分野とします。

(私費外国人留学生入試)

| 年月日（曜日） | 検 査 科 目 | 時 間 |
|-------------------------|-------------|---------------|
| 平成27(2015)年 12月3日(木) | 指導教員の推薦書 | 午後1時から午後 5時まで |
| | 口頭試問（語学を含む） | |

- (2) 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15徳島大学大学院栄養生命科学教育部内

- 2 成績証明書 出身大学（学部）長が作成した成績証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

VI 障がいのある入学志願者について

本教育部に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので平成27(2015)年10月9日(金)までに医歯薬事務部医学部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)まで申し出てください。

VII 合格者発表

合格者の発表は、平成27(2015)年12月17日(木)午前10時に医学部掲示場に掲示するとともに、合格者には本人あて文書により通知します。
なお、電話による可否についての照会には応じません。

VIII 入 学 手 続

入学手続期間及び入学手続の詳細については、おって通知します。

IX 入学料・授業料

- 1 入学料 282,000円（予定額）
- 2 授業料 前期分 267,900円（予定額）年間535,800円（予定額）
 - (1) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
 - (2) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定額が適用されます。

X 育英資金

独立行政法人日本学生支援機構より大学院生の若干名に対し、月額50,000円又は88,000円の奨学金貸与の制度があります。

XI その他

- 1 入学願書受付後は、検定料の払い戻しはしません。
- 2 その他の経費(医学部後援会費等)として、入学手続の際に約29,000円が必要です。本学及び本学部出身者は一部不要な経費があります。
- 3 募集要項を郵便で請求するときは、250円切手をはった自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封の上、本学医歯学薬事務部医学部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)へ申し込みしてください。(請求の際は「**栄養生命科学教育部博士前期課程学生募集要項請求**」と明記してください。)
- 4 出願手続等についての質問があれば、82円切手をはった自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒を同封の上、本学医歯学薬事務部医学部学務課大学院係(栄養生命科学教育部担当)へ照会してください。

平成27年度 徳島大学大学院栄養生命科学教育部担当教員研究分野

平成27年6月17日現在

| 分 野 名 | 職 名 | 氏 名 | 研 究 分 野 |
|-----------|-----------|--------------------|--|
| 分子栄養学分野 | 教授 講師 | 宮 本 賢 一 瀬 川 博 子 | (1) ミネラルの分子栄養学的研究 (2) 透析合併症の発症機構 (3) 長寿の栄養学 |
| 生体栄養学分野 | 教授 准教授 | 二 川 健 忠 近 藤 茂 | (1) 宇宙生物学と栄養 (2) 筋萎縮の分子メカニズム (3) 蛋白質分解酵素の機能と構造 (4) ミトコンドリアと栄養 (5) Non-Coding RNA と筋肉, がん |
| 食品機能学分野 | 教授 准教授 | 寺 尾 純 二 河 合 慶 親 | (1) 天然ポリフェノール類の生理作用発現機構 (2) 食品由来抗炎症成分の探索と作用機構 (3) 機能性成分の吸収代謝と臓器蓄積の解析 (4) 食品および生体成分の高感度分析法の開発 |
| 代謝栄養学分野 | 教授 講師 | 阪 上 浩 勝 原 田 永 | (1) 心臓血管病変と代謝・栄養 (2) 臨床栄養（栄養評価と栄養治療） (3) 糖尿病モデル動物を用いた研究（インスリン抵抗性, 動脈硬化など） (4) 諸種疾患における運動療法 (5) イオン, アミノ酸およびグルコース輸送（チャネル, トランスポーター） |
| 予防環境栄養学分野 | 教授 講師 | 高 橋 章 論 馬 渡 一 | (1) 食中毒と腸管細菌感染症の制御に関する研究 (2) 腸管でのミネラル分泌吸収機構 (3) 腸内細菌叢と栄養代謝に関する研究 (4) 臨床研究を中心とした新しい栄養管理法の開発 |
| 臨床食管理学分野 | 教授 講師 | 竹 谷 豊 示 奥 村 仙 | (1) 生活習慣病の栄養アセスメントと栄養管理 (2) ヒトでの食品機能評価と機能性食品開発 (3) カルシウム・リン・ビタミンD代謝調節と慢性腎臓病・骨疾患の栄養管理 (4) 食習慣と嗜好 |
| 実践栄養学分野 | 教授 講師 | 酒 井 徹 泉 首 藤 恵 | (1) 栄養と免疫機能に関する研究 (2) 徳島県特産食品の栄養機能に関する研究 (3) 栄養と健康に関する疫学研究 |
| 疾患治療栄養学分野 | 教授 | 濱 田 康 弘 | (1) 栄養サポートチームに関する研究 (2) 臨床栄養に関する臨床研究 (3) 慢性腎臓病における Protein Energy Wasting |

| 分野名 | 職名 | 氏名 | 研究分野 |
|-------------------|------------------------|--------------|--|
| 素材応用学分野 〔連携〕 | 客員 准教授 客員 准教授 | 小竹英一 箭田浩士 | (1) 食品素材機能成分の腸管吸収・排泄・代謝 (2) 食品素材成分の機能性と作用機構 (3) 食品素材に含まれる機能成分の化学特性研究 (4) 機能成分の定量分析 |
| 機能設計生産学分野 〔連携〕 | 客員 准教授 | 松木順子 | (1) 糖質系食品素材の特性解析 (2) 食品機能性評価技術の開発 (3) 糖質系素材の構造制御による付加価値賦与技術の開発 |
| 治療栄養学研究分野 〔連携〕 | 客員 教授 | 武田伸一 | 筋ジストロフィー及び筋萎縮症の分子病態に関する研究情報を収集させ、その内容を議論することにより独立して研究を行うための基礎能力を養う。分子治療学と栄養学の観点から、筋ジストロフィー及び筋萎縮に対する分子栄養学的な治療開発に関する最新論文を精読させ、研究開発能力を養うための指導を行う。 |
| 宇宙栄養学分野 〔連携〕 | 客員 教授 | 東端 晃 | 宇宙栄養学を含む宇宙生物学全般についての研究。 藻と線虫を利用した無重力ストレスの生体の応用等解析。 |
| 栄養化学分野 〔連携〕 | 客員 教授 | 田中啓二 | (1) 蛋白質分解に関する研究全般 (2) オートファジーと栄養に関する研究 |